

2022年度 学校評価報告書



学校法人 徳永学院 西吹田幼稚園
NISHISUITA KINDERGARTEN

自己点検結果報告

1. 本年度の重点的な目標、総合的な評価結果及び今後の課題

■2022年の大きな出来事

- ・総合的に判断し、学年を越えて理解、対応する事ができた。
目標に向けて、今年度強化を課題としていた「おもいやり、やさしさ」「信頼関係」また、異年齢間交流についても重点的に図ることができ目標は達成できた。
- ・感染症対策をしながらも、行事や教育の充実を図る事ができた。

2. 評価項目課題と結果

I 教育理念

課題：園の教育方針について全教職員が同じ意識を持って取り組む。
学年の中で話し合いを深め全学年で理解し対応していった。

①教育方針

- ・園の教育方針を、相互理解できるよう努めている。

II 教育の計画性

課題：教育課程や細かな指導計画を、各学年で明確にできるようにする。

①教育課程

- ・園の教育課程を理解している。
- ・教育課程をもとに指導計画を立て、各学年で明記している。また、各学年の指導計画を全員で共有している。

②指導計画

- ・指導計画は教育要領・教育課程・幼児の実態などをもとに考えて作成している。
- ・指導計画は常に見直しを行っている。
- ・従来からの伝統と現在の教育のあり方の良い所を検討し見直している。

III 教育の実態

課題：本園の特色ある教育に新幼稚園教育要領を取り入れるようにする。

教諭間の連携を深めるとともにクラス、学年の枠を超えて園全体で一人ひとりのこどもを理解しようと努め、援助できるようにする。豊かな友だち関係で遊びが広がるように計画していくとともに、それに必要な環境を研究する。日々の様子を記録し成長の姿を明確に出来るようにする。人間性の基礎となる意欲を育めるようにする。また、異年齢での交流をしていく事で豊かな人間関係を築けるようにする。

①10の項目について

- ・教育の中で意識的に幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿の項目が取り入れられるようにする。

②こどもたちのかかわりについて

- ・保育者自身が豊かな人間性を持ち、子どもたちの目線と同じ目線での驚き、喜び、関心、表現を感じ子どもたちと共有することで信頼関係を深めていこうとしている。
- ・個々の子どもたちの心身の状況・変化・発達・性格をよく把握できるように努め、その子に応じた支援とことばかけができるようにしている。
- ・子どもたちの思いに共感する事を心掛けている。
- ・子どもの人権を尊重し、教育にあたっている。
- ・一人ひとりの話に耳を傾け、子どもの気持ちを受けとめ安心感、信頼感をもてるようにするとともに、そのことによって個々がのびのびと自分をすなおにだし明るく生活できるようにしている。
- ・保育者が表情豊かに接する事で、思いを表現しやすい環境をつくる。

③環境づくりについて

- ・友だち同志のつながりが深まり、新たな友だち関係にもつながるようなグループ活動、取り組みを環境として取り入れていくようにしている。
- ・子どもたちが見通しをもち楽しい園生活が送れるように視覚的支援を含め配慮していくようにする。
- ・遊具、教材についても個々が集中して遊べるものを研究していくとともにその環境を用意していくようにする。
また、その遊びに集中することから集団の中での集中力にもつなげていけるようにする。
- ・遊びが単発的におわるものばかりでなく、継続して遊べるものも取り入れ楽しめるようにする。
- ・その時々々の季節や子どもたちが興味をもっている事柄、目を向けてほしい内容などに自然に目を向けられるよう効果的に図鑑や絵本、教材などを用意し、見ることができるようにする。
- ・子どもたちが集中して活動に取り組める環境づくりに努めている。

自己点検結果報告

④教諭間の連携について

- ・全学年の週案を全教職員が理解できるようにしている。
- ・補助の先生とも前もって保育内容、手の必要と思われる場面を共有し、効果的に補助してもらえるように連絡、話し合いを行うようにしている。
- ・視覚的に情報共有できるよう、ホワイトボードを設置した。
- ・他のクラスの運営状況、教育方法も教諭同士で把握できるようにし目を配ることでクラスの運営にかたよりのないような話し合い、見守り、援助をしている。
- ・子どもについて常に教諭同士で話し合い、クラス、学年をこえて情報を共有している。また意見交換を細やかにしている。
- ・子どもの様子、クラス運営を細やかに記録し、年間を通じての成長を明確にできるようにしている。またそれを共有している。
- ・他学年の活動についても意見交換できるようにし、よりよい教育が行えるようにしている。
- ・子どものささいな様子の変化や出来事も教諭間で共有しあうようにしている。

IV 学級運営

課題：毎日の教室管理や事務処理を能率よく行う工夫をする。

①教室の管理

- ・教室内の整理整頓を心がけ、掃除が行き届いている。
- ・子どもの動線を考え、安全に配慮した環境になっている。
- ・コロナ対策の換気の徹底を意識している。

②事務処理

- ・出席簿・教育日誌は毎日正確に記入している。
- ・配布物は適時に配布している。
- ・連絡帳はすぐに読み、適切に対応している。
- ・保護者からの提出物、現金など注意深く管理している。

V 教育能力向上

課題：研修会により多く参加するなど、教諭としての研究心を常に持つ

①研修・研究への意欲

- ・研修会には進んで参加している。
- ・研修会などで習得したことを実際の教育に生かしている。
- ・教育関連の専門書や専門雑誌を読んでいる。
- ・教材研究をしている。
- ・研修で得た事を共有し、園内研修に取り組んでいる。

VI 保護者とのコミュニケーション

課題：家庭との連携の重要性をより一層意識し、子どもの成長を共に見守るという気持ちを持って保護者と接する。

①情報の発信と受信

- ・子どもの変化や出来事、日常の様子をできる限り保護者に伝えている。
- ・保護者からの依頼や、質問、相談などには適切に対応している。
- ・家庭との連携が不可欠であることを認識し、保護者と情報交換をしている。

②協力と支援

- ・保護者からの訴え、要望については安易に受けたり断ったりしないで上司に報告相談し、慎重に対応している。
- ・保護者への支援が可能な部分については上司・他の教職員の合意のもとで行っている。
- ・保護者の協力が必要な場合は上司と協力のあり方を協議の上で保護者に依頼している。
- ・保護者への支援が必要な部分については大阪府、吹田市の関係部門と連携して事にあたっている。

③良識とモラル

- ・個々の子どもや保護者、家族の情報は一切口外していない。
- ・保護者との接し方は平等になるよう心がけている。
- ・保護者を尊重して話している。
- ・保護者を尊重して話を丁寧に聞いている。
- ・園のすべての保護者に対し、あいさつをしている。

④要望への対処

- ・要望に対して謙虚に話を聞いて問題の本質を捉えるようにしている。
- ・保護者の意を理解し、その上で保護者の納得を得ることができる対処を心掛けている。
- ・必ず上司に相談・報告をしている。

VII 期待される望ましい教育者像 課題：より望ましい教育者としての自覚や人間性を高める努力をする。

①幼稚園教諭としての能力

- ・相手を思いやり気づけるよう努めている。
- ・子どもとのかかわり方や言葉がけなど、日々自分自身をふり返りどうあるべきか常に見つめ直している。
- ・幼稚園教諭としての専門知識や技能を身のつけようと努めている。
- ・子どもの性格や個性を把握するよう努め、その子に応じたコミュニケーションがとれる。
- ・仕事の手順をよく考え、仕事の優先順位を見極め能率よく行っている。
- ・リーダーシップを発揮し、魅力あるクラスづくりができるよう励んでいる。
- ・クラス全体の動きを常に把握している。

②良識とマナー、モラル

- ・教育時間外でも教育者としての誇りと自覚を持った言動を心がけている。
- ・服装・髪型・身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている。

③職務の遂行

- ・重要書類や個人情報にかかわる資料等は確実に保管し、園外に持ち出さない。

④組織の一員としてのあり方

- ・教職員全員でひとつのチームであることを意識している。
- ・自分の意見と異なる結果になっても決定したことは快く協力、実行している。
- ・同僚とは同学年の横のつながり、異年齢の縦のつながりを意識して互いを尊重し協力している。

3. 学校関係者の評価

- ・全員で、学校評価を理解し、反省し、自己点検、自己評価に取り組んでいる。また安心、安全に過ごせるよう防災マニュアルを作成し、学期ごとに、訓練に取り組んでいる。またアレルギー対策マニュアルの作成を含め、定期的に保健だよりを配布など、個々の健康にも留意している。
- ・4で述べる様に詳細にわかりよく点検している、また時代の要請に応える努力もしている。
- ・教職員の働く体制を整え、健全に園児に保育できるようにしている。
- ・年休・有休をとりやすい環境づくりをしている。

自己点検結果報告

4. 結果詳細 (別添え)

I 園の教育方針

「すなおで あかるい げんきなこ」を園訓とし、たくましい人間育成を目標としている

II 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定をした学校評価の具体的な目標や計画

教育目標をふまえ、自己評価、自己点検を日々行うことによって互いの状況を理解し、より良い教育の改善に主体的に取り組むことを重点とする

III 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
教育課程や指導計画の見直しをしつつ、全教諭が理解できるように努力する。	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、各学年で、子どもたちの状況に応じた目標を定め、達成できるよう状況を報告し合うようにしている。保護者にも達成できているか伝えるようにした。 学年間の話し合いをして連携できるようにする。 週案を明記する事で各学年の活動を把握する。 各学期末に保育や行事の振り返り、反省会を行い共有した。
本園の特色ある教育を活かせるよう工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたち、それぞれの状況を把握し、個人に応じた対応に努めている。 日々、教諭間で話し合い、情報を共有し、よりその子その子に適するよう考慮している。 その都度反省し、次の教育を活かせるよう工夫する。
研修会に参加するなど、研究心を常に持つ。	<ul style="list-style-type: none"> 研修会 (大阪府・吹田市主催の講座、体育・運動の講習会、描画・製作の講習会等) などで習得した事を、実際の教育に活かす。また園内研修を行い習得したことを共有する。 多分野の教育誌を、読み研究する。 意欲的に教材研究を行っている。 教育で発見した点を互いに共有するようにしている。
保護者とのコミュニケーションを図る。	<ul style="list-style-type: none"> 登降園時で日々の変化、様子を話し合うことができる。子育て相談もその都度受けている。 日々ホームページの保育日記、連絡帳、年7回のクラス通信にて、様子を伝え合う機会をたくさん設けている。 各学期に1~2回、連絡帳で、その子の様子を細かく知らせ、大きな行事においても、過程や個人としての活動も伝えるようにしている。 連絡なびのアプリ導入に向けてトライアル期間をもうけた。 ニーズに対して、教職員で、話し合い、検討する。 学年通信を通して、その時の成長に必要な手助けを伝えている。 はやめに連絡事項や、手紙を配布するようにして事前の準備をしやすいようにする。 Instagramを開設し気軽に様子を見てもらえるようにした。
より望ましい教育者としての自覚や人間性を高める努力をする。	<ul style="list-style-type: none"> 教職員全員で、協力し合い、より良いクラス運営ができるように、内部研修会を通じ、お互いを高め合っている。

IV 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

全員で、学校評価を理解、反省し、自己点検、自己評価に取り組んでいる。また、安心、安全に遊べるよう防災マニュアルを作成し、学期ごとに、訓練に取り組んでいる。アレルギーマニュアル作成を含め、健康に留意している。

V 今後取り組むべき課題

評価項目	取組状況
情報公開の方法	<ul style="list-style-type: none"> ICも利用し園の情報や子どもたちの育ちを理解できるよう取り組んでいく。 詳細を保護者に伝えられるようにする。・Instagramを通じ本園の情報を伝えられるようにする。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 防災マニュアルを周知、理解し、迅速に対応できるよう訓練の機会を増やし取り組んでいる。 ICカードを採用する事で更に防犯対策をしている。 避難訓練の回数を増やし、子どもたちが実際に体験したり話を聞いたりすることを通じ、防災意識をしっかりと持てるようにする
指導計画	<ul style="list-style-type: none"> より充実できるよう見直し、向上できるように努める。 個々の園児に対して働きかけ、より成長できるように促す。・日々の様子を記録する。 内部研修の機会を増やす。・週案を提出し、全員で共有する。 異年齢の触れ合う機会が少なくなっていたので、どのように異年齢間交流を行うかの具体策・計画を作成する。 各学年の指導計画を記録として残すように、全員が理解できるようにする。 目標が達成できたか検討する事で、次の目標を見極めるようにする。

保護者・地域から見た園に対する評価

- ◎ 永年の歴史と伝統を大切にしながらも、保護者や地域の意見に耳を傾けよりよい園運営を目指している姿勢が良い。
- ◎ 全ての先生方が、全園児の顔を覚えていてくださり温かく目の行き届いた対応をしてくださる。
- ◎ 通園バスは無いが、その分、登降園時に親子の対話の時間が持て、毎朝担任の先生と顔を合わせ子どもの体調等、細かな事でのコミュニケーションがとれる。
- ◎ のびのびとした園の雰囲気の中で子ども達は生き生きとした表情で元気に活動できる。
- ◎ 未就園児も含めた異年齢間交流を図っている姿勢がよい。
- ◎ 園児増に対する取り組みをさらに進めることを望む。
- ◎ 卒園生と幼稚園の絆がいつまでも強く、夏まつり・バザー・運動会などに参加する等、地域に根ざしているのが良い。
- ◎ 園舎が非常に幼稚園らしく可愛く、園児・保護者が喜んでいる。
- ◎ 保護者・地域への情報公開に積極的に取り組んでいるのが良い。
例えば、ホームページの教育日記が毎日更新され、教育中の事がよくわかり、毎日楽しみに見ている保護者が多数いる等。
- ◎ 徒歩・自転車通園・園遊会等、保護者同士触れ合う機会が多く有り友達ができ易く、お父さん・お母さんの仲が良い。また、先生と保護者の距離が近く、アットホームな雰囲気が良い。
- ◎ 自発的に園児が字や、数字を学ぶ気持ちにさせ、教えてくれるのが喜ばしい。
- ◎ 絶えず、地域と共に子どもを育てようという姿勢が良い。
- ◎ 課外教室にも力をいれており、絵画教室ではこども二科展に出展し、毎年入選したり英語教室では、外国人講師によるネイティブな英語をゲームなどを通して教えているのが良い。
- ◎ 運動教室ではサッカーを取り入れ、プロのサッカー選手に教えて頂けるのが良い。
- ◎ キンダーカウンセリングを安心して受けられる環境が整っている。
- ◎ 夏休み中も預かり保育があり、助かる。
- ◎ 先生達の園児ひとりひとりに対するスキンシップの触れ合いに子ども達も喜んでいる。
親としてもうれしい。
- ◎ 現金徴収法ではなく、キャッシュレスにしてほしい。
- ◎ 母の会活動で責任を持つ役がまわってこないか不安がある。
- ◎ 園長先生も園児の名前を覚えており、降園時に声をかけてくれる。

2022年度 事業報告書



学校法人 徳永学院 西吹田幼稚園
NISHISUITA KINDERGARTEN



法人の概要

1. 名 称 学校法人 徳永学院 [昭和29年6月3日法人設立]
2. 住 所 等 大阪府吹田市泉町4-41-10
電話/FAX 06-6384-4748
3. 設置する学校 (2022年5月1日現在)
学校の名称: 西吹田幼稚園
定 員: 210名
実 員: 126名
4. 理事長氏名 徳永 倭
※ 理事6人、監事2人、評議員15人
定例理事会・評議員会年2回開催
5. 教職員の状況 2022年(令和4年)5月1日現在
西吹田幼稚園:
園長=1人、主幹教諭兼学級担任=1人、
主任兼学級担任=1人、主任兼企画=1人、
学級担任=6人、副担任=2人、
預り担当=3人、補助教員=1人、
職員(兼務常勤園歯科医師=1人、兼務保育士=2人、園務=1人)=4人、
英語講師=3人、運動講師(サッカー)=1人、
臨床心理士=1人

合計25人

事業の概要

■ 園の方針

「すなおで、あかるい、げんきなこ」を園訓とし、
困難なことでも乗り越えて行けるたくましい人間育成を
目標としています。

● 家庭的な雰囲気による愛情と、しつけの保育

子どもたちがのびのびと行動し、担任の先生だけでなく教職員みんなで園児全体を見守り、世話をやき過ぎず、
細やかな対応をしています。

● 園児一人ひとりの個性や、特長を生かすように心掛けた教育

園児の可能性を大きく伸ばすように心掛け「知育」「徳育」「体育」「食育」のバランスのとれた
のびのび教育を行っております。また、月2回ネイティブスピーカーが担当する「英語あそび」、
体操の先生による「体操あそび」も取り入れています。

子どもは自然や人との触れ合い、製作や遊びなどの様々なことを通して、多くのことに興味・関心を示し、豊かな感受性と
創造性を持ちます。子どもたちの意欲を大切に、一人ひとりの個性を尊重しながらその子ども自身の特長を生かし、
子どもたちの持っている可能性を大きく伸ばすように心掛けた教育を行います。

■ 施設紹介と安心・安全対策の取組み

● 設備・施設について2022年(令和4年)5月1日現在

園地面積	1.486㎡
運動場面積	833㎡
園舎面積	1.032㎡
設備・施設	舞台付き遊戯室・プール・教室・冷暖房完備 空気清浄機完備、暖房便座・ミスト
園周辺・ 安全対策	登下校時警備員2名配置・モニター付きインターホン 出入口リモコン式電気錠・警察本部と直接非常時電話 園庭監視カメラ・保護者来園時ネームタグ着用 お泊まり教育時警備・災害時優先電話

● 園児の健康と安全対策

各保育室には、防犯・防災対策とUVカットを兼ね備えたガラスを使用しています。職員室から死角になっている
園周辺及び園庭箇所は、設置された監視カメラにより職員室のモニターで常時映し、録画しています。
また、大阪府警と直結した非常時電話により、万が一の場合にも備えています。新型コロナ対策として空気清浄機、
新型OIO機を設置しています。また、教室・設備の消費を徹底しています。

● 食育と、安心のアレルギー対応

子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身につけていくためにも「食」は重要です。バランスのとれた給食を委託し、
食事を楽しみながら好き嫌いを減らす指導を心掛けています。アレルギーのお子さまには一人ひとりに合わせた以下のような
対応をとっているため、安心です。

※「小麦、牛乳・乳製品、そば、落花生、鶏卵、卵、大豆、さば(青魚)、海老・かに、ごま」の計10品目については現物除去食、「卵」については
完全除去食で対応しています。

● 吹田市消防署と連携した『西吹田幼稚園幼年消防クラブ』

吹田市消防署の依頼により毎年、年長児と教職員が『西吹田幼稚園幼年消防クラブ員』となり、「はっぴ姿」で
行進し、火遊びをしない宣誓をします。正月の「出初め式」にも参加し、分列行進をします。

事業の概要

■ 保育について 2022年(令和4年)5月1日現在

開園時間	8:00~19:00
保育時間	月・火・木・金 …………… 9:00~14:30 水 …………… 9:00~12:30
休園日	日・祝・土・創立記念日(6/23) 夏期7/31~8/31、冬期12/25~1/5、春期3/26~4/6
昼食	給食/週5回、手作り弁当/月2回
通園方法	徒歩/自転車/個人送迎
子育て支援	教育相談・園庭開放(年16回)・プレスクール(来春入園者対象) キンダーカウンセリング(月1回)

※学年毎に英語あそびがあります。

■ 学級・園児・教職員の構成 2022年(令和4年)5月1日現在

- ・認可上の定員(クラス数) …… 定員210名(8クラス)
- ・在籍園児数(クラス数) …… 3歳児43名(3クラス)
4歳児40名(3クラス)
5歳児43名(2クラス)
合計126名(8クラス)
- ・教職員数 …… 園長=1名
主幹教諭兼学級担任=1名
主任兼教務企画=1名
主任兼学級担任=1名
学級担任=6名
副担任=2名
預り担任=3名
補助教員=1名
英語講師=3名
運動講師=1名
臨床心理士=1名
職員=4名
合計25名

事業の概要

■ 募集要項 2023年《令和5年度》70回生

資格年齢	3歳より学令に達するまでの幼児が入園できます。	
人 員	3歳児 (平成31年4月2日～令和2年4月1日) ・70名 4歳児 (平成30年4月2日～平成31年4月1日) ・20名 5歳児 (平成29年4月2日～平成30年4月1日) ・10名	
願 書 配 布	9月1日 (木) より玄関受付にて願書をお渡しいたします。	
入園説明会	第1回:9月3日 (土) 午前9時より・第2回:9月3日 (土) 午前11時より・第3回:9月14日 (水) 午後2時より2階教室にて説明会を行います。 お子様はその間、園庭や教室で教職員がお預かりいたします。	
願 書 受 付	10月1日 (土) より10:00～14:00の間 受付にて願書に入園検定料・入園料を添えてお申し込みください。定員になり次第締め切ります。	
入 園 料	3年教育児 (3歳児・年少) 80,000円 2年教育児 (4歳児・年中) 70,000円 1年教育児 (5歳児・年長) 60,000円 《入園金減免》 10,000円減免させていただきます。 対象: 祖父母、両親、兄弟、姉妹が本園卒園もしくは在園児の新入園児	
入 園 検 定	10月1日 (土) に行います。入園検定料は3,000円です。	
教育用品等	制服、教材等教育用品代 約46,000円《令和5年1月18日 (水) 新入園児物品購入日》/物品渡し日: 令和5年3月1日 (水)	
教育時間等	◆月・火・木・金 / 9:00～14:30 ◆水 / 9:00～12:30 《学年毎に「英語あそび」「体操あそび」の教育があります》	
預かり保育	〈希望者対象〉 ◆月・火・水・木・金 / 8:30～9:00 ◆月・火・木・金 / 14:30～16:00 ◆水 / 12:30～14:00	
課 外 教 室	■運動教室 月曜日/年中・年長児希望者 (1回 700円) 14:40～15:40 ■英語教室 火曜日/年長児希望者 (1回 900円) 14:40～15:40 ※ネイティブスピーカーが担当します。 ■絵画教室 木曜日/年中・年長児希望者 (1回 900円) 14:40～15:40 ※毎年 (～2014年) 「こども二科展」の入賞者あり	
教 育 費 用	◆授業料 授業料無償化にともない年額を12ヶ月に分けて毎月吹田市よりの代理受給とさせていただきます。 3歳児 (年少) 3年教育 年額308,400円 (月額25,700円) 4歳児 (年中) 2年教育 年額308,400円 (月額25,700円) 5歳児 (年長) 1年教育 年額308,400円 (月額25,700円) ◆施設協力費 月額3,000円 ◆父母協力費 月額1,000円 ◆給食費 1食390円 (週5回) /手作り弁当あり (月2回) ※アレルギー対応が必要な場合は、医師の診断書・処方添えてご相談ください。 ◆その他 遠足、追加補充制服、教材用品等は実費を徴収いたします。 絵本 (年長 月額約950円 / 年中・年少 月額450円) 等は実費を徴収いたします。	
そ の 他	◆給食費、課外教室授業料は幼稚園欠席の場合、月末に返金します。 ◆納付していただく入園検定料、入園料、授業料について消費税は課されていません。 ◆未就園児対象の ・園庭開放 (定員なし) 第1木曜 10:30～11:45 ・親子教室 (定員あり) 第3木曜 10:30～11:45 ◆キンダーカウンセリング 月1回 (地域の皆様、どなたでもご利用可) 臨床心理士 / 公認心理師によるカウンセリングを無料で行っています。	

財務の概要

■ 財務状況の説明

令和4年度は、園児数126名と前年4月園児数142名より16名の減少でスタートした。

途中入園・退園の結果、令和4年度末では卒園児含め124名と年度当初に比べ2名の減少となった。

また、令和5年4月の新入園児は23名と4年4月新入園児43名と比べ20名の減少となり5年度の経営に大きく影響すると見られ、5年度の懸念材料となった。

収入では、園児数の減少から、学生生徒納付金で前年に比べ3,545千円の減少

同じく補助金では、新たな補助金収入があったものの936千円の減少

特に中心である経常費補助金では4,207千円の減少となった。

一方、わくわくくらすの展開により、預り関連収入は園児数全体の減少にも関わらず

年間延べ利用人数が8,259人と前年に比べ1,254人増加し、補助活動収入は

前年比110% 1,436千円の増加となった。

結果、事業収入は118,928千円、前年比97% 3,770千円の減収となった。

支出では、人件費は効率化のために組織の見直しを実施したが教職員の処遇改善に伴い

全体では前年比100%となった。

また、教育研究費では効率化を図り前年比94%となった。

管理費では、預かり園児数の増加に伴い、補助活動費用が増加し、前年比114%と増加した。

結果、事業支出は123,996千円、前年比102%となった。

事業収支は、△5,068千円となり、園児数減少の影響をカバーし得ない結果となった。

資金収支においては、前年に引き続き長期資金を導入し、経営の安定化を図った。

5年度においては、更なる園児数減少という状況に向けて、一層の経営効率化に向けて

学院全体の経営改善に取り組んでいく。

財務状況

【資金収支計算書】

単位：円

科 目	令和4年度
学生生徒等納付金収入	48,311,929
手数料収入	111,000
寄付金収入	1,597,000
補助金収入	51,951,916
付随活動収入	16,470,560
雑収入	485,714
借入金等収入	20,000,000
前受金収入	1,870,000
その他の収入	25,553,724
資金収入調整勘定	△ 5,367,388
前年度繰越支払資金	5,657,388
収入の部合計	166,641,540
人件費支出	63,446,578
教育研究費支出	18,973,296
管理経費支出	17,652,723
付随活動支出	16,392,582
借入金等返済支出	21,310,826
施設関係支出	0
設備関係支出	2,238,406
その他の支出	28,811,904
資金支出調整勘定	△ 5,240,147
次年度繰越支出資金	2,623,864
支出の部合計	166,641,540

【事業収支計算書】

単位：円

科 目	令和4年度
学生生徒等納付金収入	48,311,929
手数料収入	111,000
寄付金収入	1,597,000
補助金収入	51,951,916
付随活動収入	16,470,560
雑収入	485,714
教育活動収入計	118,928,119
人件費支出	63,446,578
教育研究費支出	24,142,896
管理経費支出	20,013,941
付随活動支出	16,392,582
教育活動支出計	123,995,995
教育活動収支差	△ 5,067,876
教育活動外収入	23
教育活動外支出	431,508
教育活動外収支差	△ 431,485
基本金組入前当年度収支差額	△ 5,499,361
基本金組入額合計	△ 2,238,406
当年収支差額	△ 7,737,767
前年度繰越収支差額	△ 218,578,213
翌年度繰越収支差額	△ 226,315,980

監査報告書

監 査 報 告 書

学校法人 徳永学院

理事長 徳 永 俊 殿

令和5年5月28日、市立学校法第37条（第4項）及び、寄付行為第13条の規定に基づいて、令和4年度決算にかかる事業報告及び関係諸帳票、証拠書類並びに理事の業務執行の状況について監査したところ、その事業の執行及び財務諸表の内容は、適正であることを認めます。

令和5年5月28日

学校法人 徳永学院

監 事 石 田 豪

石田 豪



監 事 浦 田 昇 一

浦田 昇一



監事の職務執行状況

令和5年5月28日

前年度決算… 適当

公認会計士の監査状況

監査実施年月日 令和5年5月15日・6月9日・6月19日

監査報告参考事項…なし

公認会計士 谷木 稔弘

2022年度 貸借対照表・財産目録



学校法人 徳永学院 西吹田幼稚園
NISHISUITA KINDERGARTEN

【貸借対照表】

単位：円

科 目	令和4年度
固定資産	138,326,183
流動資産	5,091,252
資産の部合計	143,417,435
固定負債	95,974,945
流動負債	7,253,972
負債の部合計	103,228,917
基本金	266,504,498
繰越収支差額	△ 226,315,980
純資産の部合計	40,188,518
負債及び純資産の部合計	143,417,435

【財産目録】

単位：円

科 目	令和4年度
固定資産	138,326,183
流動資産	5,091,252
資産総額	143,417,435
固定負債	95,974,945
流動負債	7,253,972
負債総額	103,228,917
正味財産	40,188,518